

会 務 報 告

令和 3 年 11 月 6 日

令和 3 年度事業計画・実施経過報告

I. 出版編纂事業

1. 機関誌「東方学」の刊行

○第 142 輯 (令和 3 年 7 月末刊、134 頁、2,000 部)

(論文) 長堀祐造、王孫涵之、宮崎展昌、中島楽章
(座談会) 「先学を語る」——有光教一先生 (企画・司会: 吉井秀夫)
(武内先生追悼) 吉田 豊
(編輯後記) 谷口 洋

○第 143 輯 (令和 3 年 1 月末刊行予定、校正作業中)

(論文) 鶴間和幸、瀬戸 宏、西尾和子、小沼孝博
(内外学界消息) 菅野博史
(座談会) 「先学を語る」——澤田瑞穂先生 (企画・文責: 稲畑耕一郎)
(編集後記) 片山 剛

○第 40 回東方学会賞

選考委員: 池田秀三、岩田 孝、金 文京、村井章介、桃木至朗
授 賞 者: 金 鑫: 論文「西魏・北周の「大誥体」について——その文体改革の意図および文学史における位置」(「東方学」141 輯) およびこれと関連する研究活動
贈呈式は、令和 3 年度秋季学術大会 (11 月 6 日、オンライン開催) において行う。

2. ACTA ASIATICA : Bulletin of the Institute of Eastern Culture の刊行

○No.121 (令和 3 年 8 月刊、136 頁、750 部)

The Heart Sūtra Revisited: The Frontier of Prajñāpāramitāhṛdaya Studies
(特集「般若心経再考——般若心経研究の最前線」、責任編集: 斎藤明)
序文: 斎藤明、論文: 斎藤明、渡辺章悟、堀内俊郎、石井公成、Jonathan SILK

○No. 122 (令和 4 年 2 月刊行予定、校正作業中)

特集「「長期の 18 世紀」と海域アジア」、責任編集: 島田竜登
序文: 島田竜登、論文: 彭浩、嘉藤慎作、多賀良寛、斎藤照子、小川道大

3. Transactions of the International Conference of Eastern Studies (国際東方学会議紀要) の刊行

○第 65 冊 (令和 4 年 1 月刊行予定、校正作業中)

本年度においては、昨年新型コロナウイルス蔓延のため中止となった第 65 回国際東方学会議 (ICES) のプログラムを中心に、改めて第 65 回会議として Zoom によるオンライン方式で開催するとともに、第 2 回中国文化研究国際論壇もオンラインで併設開催した。その両会議の運営経過、研究発表のフルテキスト(2 篇)、要旨(60 篇)、チェアパーソンズレポート(7 篇)、講演要旨(2 篇)等を収録し、第 65 冊として刊行する。

4. 「東方學會報」の刊行

○No. 120 (令和3年7月30日刊、40頁)

第65回国際東方学会議の開催——オンライン開催に海外からも参加

[シンポジウム・発表部会報告]

I. 術数学研究の課題と方法(水口拓寿)

II. 平安朝漢文学における散文の諸相(藤原克己)

III. 17世紀から20世紀初頭のアルメニア人コミュニティとそのグローバル・ネットワーク
(守川知子)

IV. 安史の乱後の東アジア(石見清裕)

V. 〈大乘〉仏教——学派・教理・教判の異同とその背景を考える(斎藤明)

東洋美術史部会(根立研介)

第2回中国文化研究国際論壇の開催(渡邊義浩)

[研究室便り・第91回] 名古屋大学人文学研究科におけるアジア研究(田村加代子)

[役員改選] 斎藤明教授が理事長に就任——一般財団法人第6期執行部の発足(令和3年6月)

若手研究者の研究会等支援事業 [報告] 大元大明研究会(小二田章)

会員通信(42氏)、新会員紹介(10氏)、訃報、退会者、会費免除会員、

国際集会案内(第70回)

○No. 121 (令和3年12月末刊行予定)

令和3年度秋季学術大会の記事を中心に編集する。研究室便りは金沢大学の上田望教授に執筆委嘱を行うとともに、神塚淑子・佐川英治両教授に秋季学術大会シンポジウムの報告記事の執筆依頼を行った。

II. 内外学界交流事業

1. 第65回国際東方学会議(ICES)の開催

本年度においては、昨年度新型コロナウイルスの蔓延により開催を中止したプログラムを中心に再編し、下記プログラムをもってオンライン方式で開催した。参加申込者11ヶ国381名(うち日本人293名、外国人88名〔論壇を含む〕)。

○東京会議(令和3年5月15日[土])

開会式

シンポジウム(括弧内は企画責任者)

I: 術数学研究の課題と方法(水口拓寿)

II: 平安朝漢文学における散文の諸相(藤原克己)

III: 17世紀から20世紀初頭のアルメニア人コミュニティとそのグローバル・ネットワーク(守川知子)

IV: 安史の乱後の東アジア(石見清裕)

V: 「大乘」仏教——学派・教理・教判の異同とその背景を探る(斎藤明)

ペーパーセッション

東洋美術史(司会: 根立研介、板倉聖哲)

○関西部会(5月22日[土])

講演会

衣麗都(Lidu YD): 《大吉義神咒經》與帝王擁護思想在雲岡石窟的宗教儀礼実践(中国語)

緑川英樹: 五山僧は山谷詩をいかに読んだか——万里集九『帳中香』について

2. 海外学者の招聘

第 65 回国際東方学会議 (ICES) の開催に際して、下記の 4 ヶ国 4 名の海外学者の招聘を計画したが、コロナ禍のため招聘できず、現地からのオンライン参加をお願いした。

張哲嘉 (台湾、中央研究院近代史研究所副研究員)

Kristine KOSTIKYAN (アルメニア、マテナダラン古文書館シニアリサーチャー)

Paul HARRISON (米国、スタンフォード大学教授)

Lidu YI 衣麗都 (カナダ、フロリダ国際大学准教授)

3. 中国社会科学院歴史研究所との交流

中国社会科学院古代史(2019年4月歴史研究所から改称)との間で2009年に交流協定を締結し「中国古代史論壇」を10回にわたって中国と日本で交互開催してきた。新たに「中国文化研究国際論壇」を交互に開催する5年間の交流協定を締結し、2019年8月末に第1回会議が廈門大学において開催された。昨年度日本における開催を予定した第2回会議は新型コロナウイルスの感染拡大を受け1年延期となり、本年度において下記の通りオンラインで開催した。

〔第2回中国文化研究国際論壇〕

日時：5月15日(土)、16日(日)

テーマ：中国文化の統一性と多様性

日本側発表者：9名、中国側発表者17名

4. 若手研究者の研究会等支援事業

23年度より開始した若手研究者の企画する学際的な研究会等に1件5万円、年間10件までの支援を行う本事業は、申し込みを45歳未満の会員とし、報告書の提出を求めている(800字以内、『会報』・ホームページ掲載)。本年度は追加募集を含め下記3件の申請を採択した。

〔令和元年度採択分(開催順)〕

1) 申請者：権 慧 (早稲田大学助手) 34歳

会議名：東アジア村上春樹研究会設立十周年記念シンポジウム

開催日時：10月14日、オンライン開催

2) 申請者：小二田章 (早稲田大学招聘研究員) 41歳

会議名：大元大明研究会

開催日時：12月～2月、会場：早稲田大学

3) 申請者：神戸航介 (宮内庁書陵部) 40歳

会議名：「日本古代における中国文化受容」研究会

開催日：10月23日

会 場：文京区勤労奉仕会館

5. 秋季学術大会および講演会の開催

(1) 秋季学術大会の開催

本年度は東京支部主催のもと、コロナ禍のため、オンライン方式で下記の通り開催する。なお、榎本文雄教授の講演は都合により中止が決まった。

[令和3年度秋季学術大会]

日時＝2021年11月6日(土)、オンライン開催

○開会：10時

開会挨拶 東京支部長 岸本美緒

○講演会：10時10分～12時20分

藤原道長の史的意義 東京大学大学院人文社会系研究科教授 大津 透
講師紹介・司会：大正大学教授 榎本 淳一
根本説一切有部 大阪大学名誉教授 榎本文雄
講師紹介・司会：東京大学大学院人文社会系研究科教授 下田 正弘

○シンポジウム 午後1時20分～5時10分

I. 儒・道二教と仏教——三教交渉を再考する (司会：神塚淑子)

趣旨説明：名古屋大学名誉教授 神塚 淑子

六朝仏教における空と有の問題——廬山慧遠とその周辺を中心として

創価大学教授 菅野 博史

中仮義解釈(三論)、三諦説(天台)、および三時教判(法相)に通底する

中道至上観をめぐって

国際仏教学大学院大学教授 斎藤 明

達磨の導引——『易筋経』『洗髓経』と三教交渉

東京大学大学院人文社会系研究科教授 横手 裕

明代の知識人における仏経道典の読誦とその背景

東北大学大学院文学研究科教授 三浦 秀一

コメント：関西大学教授 吾妻 重二

討論

II. 中華の多元化——東アジアの「古代末期」 (司会：佐川英治)

趣旨説明：東京大学教授 佐川 英治

齊梁類書における魏晉知識の典故化

桜美林大学非常勤講師 付 晨 晨

南齊・梁における『周礼』の受容について

お茶の水女子大学大学院准教授 戸川 貴行

梁代における外国用將軍号の新設について

大阪市立大学学術情報課職員 岡部 毅 史

則天武后と多元性

大阪大学大学院文学研究科准教授 河上 麻由子

コメント：関東学院大学准教授 河内 春人

討論

○第40回東方学会賞贈呈式 午後5:20～5:40

授賞理由披露：東方学会賞選考委員代表

授賞者：金 鑫 (京都大学大学院博士課程)

授 賞：理事長 斎藤 明

(2) 講演会等の開催

本年度においては、本会の所属する東洋学・アジア研究連絡協議会のシンポジウムは、コロナ禍のため、オンラインで開催することとなった（II-9 参照）。

6. 翻訳・校訂サービスの提供

国際学術交流推進の基礎的事業として、東洋学関係の論文、論文要旨、国際会議発表ペーパーの英訳及び英文校訂（ネイティブチェック）の有料サービスを継続実施しており、本年度においても着実に実績をあげている。

7. 内外研究情報・資料の交換・斡旋

内外学界における関係団体機関及び研究者との間に情報の提供や本会の出版物の寄贈・交換を行う本事業については、従来通り本会の出版物を継続送付しているが、コロナ禍のため送付できないところが増えている。

8. 国際アジア・北アフリカ研究会議（ICANAS）関係業務

第 39 回会議の開催情報がなく、情報待ちの状況にある。

9. 東洋学・アジア研究連絡協議会の事務局業務

平成 16 年 12 月に設立された標記協議会については、本会がその事務局業務を担当している。同協議会には、現在 34 学協会が所属しており、コロナ禍のため総会は中止し、12 月 18 日（土）にシンポジウムを下記の通りオンラインで開催する予定である。

[シンポジウム「研究環境の変貌と東洋学・アジア研究」]

開会挨拶：斎藤 明（国際仏教学大学院大学教授、東洋学・アジア研究連絡協議会会長）

総合司会：島田竜登（東京大学准教授）

宇野木 洋（立命館大学教授）：中国現代文学研究領域の変貌を考える——「中国／現代／文学」の分節化から

河合 望（金沢大学教授）：エジプト学のフィールドワークにおける新しい記録方法と研究成果のデジタル化について

下田正弘（東京大学教授）・永崎研宣（人文情報学研究所主席研究員）：デジタル時代におけるアジア研究からの発信——仏教学を事例として

Peter K. Bol (Professor, Harvard Univ.): Asian Studies in a Digital World: What do we still need to do?

川島 真（東京大学教授）：アジア研究の直面する課題——日本学術会議・第 25 期「アジア研究・対アジア関係に関する分科会」からの報告

閉会挨拶：岸本美緒（お茶の水女子大学名誉教授）

10. 「儒蔵」日本編纂委員会の事務局業務

平成 18 年 9 月に発足した「儒蔵」日本編纂委員会の要請を受けて事務局を担当しているが、その業務は、近年では中国からの関係図書を受領する程度にとどまっている。

11. ホームページによる情報の提供

平成 14 年 4 月 16 日にホームページを開設して以来、逐次補充更新して広く内外学界及び一般からのアクセスに応じている。

III. 会員関係事業

1. 会員現況（令和 3 年 10 月末日現在）総数 1,324 名

2. 全国会員総会の開催

平成 24 年度より従来の総会における講演会・シンポジウムを秋季学術大会として開催し(別項 II-5)、会務報告と懇親会を会員総会として開催する。なお、本年度においてはコロナ禍のためオンラインによる会務報告だけを行う。

○第 71 回全国会員総会（令和 3 年 11 月 6 日（土））

会務報告 5 時 40 分～6 時 理事長 齋藤 明

3. 要覧・会員名簿の刊行

「東方学会要覧」及び「東方学会会員名簿」を隔年に刊行しており、本年度においては第 6 期役員名簿を付載して下記の通り刊行する。

「東方学会要覧 2021」7 月 25 日刊、A5 判、本文 8P 横 1 段組、総 74 頁、120 部

「東方学会会員名簿 2022」12 月 25 日刊行予定、A5 判、本文 10P および 8P 横 1 段組、約 110 頁、1,400 部

IV. 図書室事業

1. 図書室の整備

内外学界・大学研究機関より交換・寄贈を受けた東方学関係図書・雑誌・研究資料、及び本会購入図書の収納・整理を行う。

2. 録音資料の作成（座談会の開催）

本年度においては、「先学を語る」シリーズで 11 月に尾崎雄二郎先生を、「学問の思い出」シリーズで 12 月に藤本幸夫先生をそれぞれ取り上げ、下記の通り座談会を開催する。

「先学を語る」——尾崎雄二郎先生（『東方学』第 144 輯に収載予定）

日時：令和 3 年 11 月 21 日（日）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

会場：京都ガーデンパレス

出席：小南一郎、木田章義、高田時雄（司会）、平田昌司、森賀一恵

「学問の思い出」——藤本幸夫先生を囲んで（『東方学』第 145 輯に収載予定）

日時：令和 3 年 12 月 20 日（月）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

会場：ANA クラウンプラザ富山

出席：藤本幸夫、三浦國雄（司会）、夫馬進、金文京、川原秀城

以 上